



# むくの木

No. 4

7月号

## 学校教育目標

[知] 進んでできる子・考える子  
[徳] 心豊かな子  
[体] たくましい子

## 今月の生活目標

学校をきれいにします



6月のむくの木

## 「むくの木」に見守られて

校長 佐藤 貴広

6月24日（月）、25日（火）の授業参観と懇談会には、多数の保護者の皆様のご出席くださりありがとうございました。いつも以上に張りきって授業に臨む子供たちの様子が見られました。懇談会では各担任から、この1学期での成長したところ、今後の課題、夏休みの過ごし方などについてお話しさせていただきました。保護者の皆様には、夏季休業中の面談でもお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆様、朝日西小学校と言えば、真っ先に何を思い浮かべますか？きっと、多くの方が、第1校庭にある「むくの木」を思い浮かべるのではないのでしょうか。

本年度、開校50周年を迎えるにあたり、過去の記念誌から「むくの木」の歴史を紐解いてみました。開校10周年記念誌の開校予定地の写真には「むくの木」らしき樹木が写っていますが、由来などは書かれていませんでした。次に、開校30周年記念誌を調べたところ、ある方の寄稿に由来が書かれていました。「むくの木」は開校予定地になる前から、そこにお住まいだったお宅の庭の木だったそうです。その方が引っ越し際、大きすぎて切れなかったため、周囲の方々がこの木を学校の庭に残して欲しいと願い、今の場所に残ったそうです。

先日、本校の「むくの木」の大きさを調べたところ、幹回りが約2m40cm、枝張りが20mを超えていました。一番高い枝は、4階廊下に立っている私の目線と同じ高さにあります。本校の子供たちは廊下を歩けば、窓外に「むくの木」。グラウンドに出れば、目の前や頭上に「むくの木」。いつも、すぐ近くに「むくの木」の存在を感じながら生活しています。本校の子供たちが、大らかに、人懐っこく、学年を越えて兄弟姉妹のように関わるができるのは、もしかすると、「むくの木」がいつも近くにあることで、何か大きなものに見守られ、包まれている安堵感や安心感のようなものを感じているからかもしれません。



もうすぐ1学期が終了し夏休みに入ります。家庭こそ子供たちにとっての「むくの木」だと思います。愛情に包まれ、無事故で伸び伸びと過ごし、元気な子供たちと再会できることを楽しみにしています。

少し早いですが、保護者の皆様、地域の皆様には、1学期、大変にお世話になりました。来学期もどうぞよろしくお願いいたします。